



8月15日、「二十祭（にじゅっさい）～ハタチだヨ！全員集合～（新成人交流事業）」が開催されました
＜綾瀬市オーエンス文化会館にて＞

令和2年度6会計決算を賛成多数で認定

9月定例会

市議会の会議で情報通信機器が使用できるよう会議規則を改正

9月定例会が、9月1日から9月28日までの28日間の会期で開かれました。この定例会では、令和2年度6会計決算、令和3年度一般会計及び介護保険事業特別会計の補正予算、綾瀬市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例、工事請負契約の変更、動産の取得、綾瀬市教育委員会委員の任命など、市長から提出された13議案を審議し、それぞれ認定、可決、同意しました。議員提出議案では、綾瀬市議会会議規則の一部を改正する規則1件を可決、意見書3件を可決、1件を否決しました。（議案名と審議結果は8ページに掲載）また、陳情は、2件を趣旨了承と決しました。

歳入歳出決算の認定

令和2年度6会計決算は、歳入等総額が57億6,144万6,096円、歳出等総額が5億6,096万6,096円、前年度と比較し、歳入等は17.5%の増、歳出等は18.1%の増となりました。

一般会計では、歳入が対前年度比28.1%増の387億5,519万円で、その内訳は、市税などの自主財源が39.9%、国庫支出金などの依存財源が60.1%の割合でした。歳出は、対前年度比26.5%増の370億6,458万円で、主に、特別定額給付金の給付や活性化応援寄附金に対する返礼などに要した総務費が、123億4,930万円で33.3%を占め、次に、施設型給付幼稚園や子育て世帯への給付などに要した民生費が、17億5,698万円で31.7%を占めました。

特別会計のうち、国民健康保険事業では、1人当たりの療養給付費が24万8,745円でした。深谷中央特定土地区画整理事業では、換地処分公告がされ、主な事務事業が完了し、事業の進捗率は事業費ベースで約99.9%となりました。介護保険事業では、歳出総額の約9割を占める保

険給付費が、要介護認定者の増加などにより、対前年度比6.9%の増となりました。

また、後期高齢者医療事業は、歳入では保険料が被保険者数の増加に伴い、対前年度比8.7%の増となり、全体の86.2%を、歳出では広域連合への納付金が全体の99.5%を占めています。

定める条例の一部を改正する条例など2議案をそれぞれ可決しました。

工事請負契約の変更

令和元年度綾瀬市立寺尾小学校空調設備機能復旧工事（機械）の請負契約の変更を可決しました。

動産の取得

高規格救急自動車の取得を可決しました。

人事案件

綾瀬市教育委員会委員の任命について

田中恵吾氏（海老名市）を任命することに同意しました。

議員提出議案

綾瀬市議会会議規則の一部を改正する規則

会議における情報通信機器の使用及び資料の電子化を実施することに伴い、所要の改正をするもので、可決しました。

補正予算

一般会計（第6号）、介護保険事業特別会計（第1号）の2会計総額で1億9,634万円増額するもので、2議案をそれぞれ可決しました。

条例

綾瀬市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を

源確保のため、地方税制の充実確保を求めるもので、可決しました。

○藤沢簡易裁判所に家庭裁判所出張所を併設することを求める意見書

藤沢簡易裁判所に家庭裁判所出張所を併設し、整備を求めるもので、可決しました。

○義務教育に係る国による財源確保、教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の保障に関する意見書

義務教育費国庫負担制度を存続・拡充し、義務教育教科書無償制度を継続するとともに、行き届いた教育を実現するための予算を確保・拡充することを求めるもので、可決しました。

○沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める意見書

悲惨な沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋め立てに使用しないことを速やかに実現されることを求めるもので、否決しました。

可決した意見書は関係機関に提出しました（意見書の全文は7ページに掲載）。

報告

○令和2年度綾瀬市一般会計継続費精算報告書について

○令和2年度決算に基づく健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について

○専決処分の報告について（綾瀬市個人情報保護条例の一部を改正する条例）

